

## 愛知教育大学教職大学院生との交流会

平成 30 年 12 月 3 日 (月) 愛知教育大学教職大学院から伊藤幹夫先生と山田浩一先生、14 名の大学院生をお招きしました。はじめに伊藤先生から「教職大学院」について説明していただき、その後、アイスブレイクを通して、大学院生と教育コース生の交流が始まりました。



交流の前半は大学院での研究活動についてグループごとに発表していただきました。教育コース生は 11 月から始まったグループ研究の参考とするため、耳を傾け、意見を交わしていました。



後半は教育コース生がグループ研究についてこれまでの取り組みを発表しました。その後大学院生から研究内容や手法について、アドバイスをいただき、仮説を立証するための方法などについて議論を深めることができました。

最後は山田先生から「一人の子を粗末にすると、教育はその光を失う」という言葉を用いて、自身の教員生活から学んだことを教えていただきました。



#### 【教育コース生の声】

- ・とても有意義な時間を過ごすことができた。お互い教員を目指す者同士でいい刺激を受けた。
- ・「教職大学院」にとっても興味を持った。自分も教育についてもっと研究したいと思った。
- ・年齢が近く、とても話しやすかった。自分たちのグループ研究について熱心に聞いてくれて、アドバイスしてくれたことにとても感謝している。

#### 【大学院生の声】

- ・自分の高校時代と比較すると、知識や意欲が違うと感じた。
- ・課題をつかむ力がすごい。生活の中の当たり前だと思っていることを問い直す力や気づきがすばらしいと感じた。
- ・自分の経験をもとに研究を出発しているのが良いと思ったが、その個人的な経験をどのような理論に基づいて研究していくのが難しいと思った。